

単位認定カリキュラム「物流に関する授業」を実施

向陽台高等学校 (茨木市)

大阪府トラック協会は6月28日、茨木市の学校法人早稲田大阪学園 向陽台高等学校の単位制コースの生徒26名を対象に単位認定の履修選択科目となる「物流に関する授業」を実施した。

現在、トラック運送業界では若年者を中心とした深刻なドライバー不足が喫緊の課題となっており、大阪府トラック協会では各行政機関と連携しながら様々な人材確保対策を行なっているが、就職についてより具体的に考え始める高校生にトラック運送業界へ興味関心を持ってもらい、将来の就職先の選択肢の一つとしてもらえるような対策に力を入れており、その一環として昨年度より単位制コースの生徒を対象に、2時限で卒業単位の74単位の中の1単位の修得となる単位認定授業を行なっている。

1時限目は大阪府トラック協会 滝口敬介 専務理事から、トラックドライバーの仕事のやりがいや、緑のナンバープレートの営業用トラックについての基本的な説明、免許取得制度、最近のトラックの安全装置の進化、災害時の緊急救援物資輸送等について説明を行ない、和歌山県トラック協会が制作したDVD「想い届け人～人の想いと共に走る～」を視聴した。

続いて、2時限目は、堀内運送株式会社 経営企画室・人事課課長 三浦隆志 氏から、CM等でも馴染みのトラック運送会社のロゴを用いたクイズを交えながら、物流業界やトラックドライバーのお仕事についての講話や、堀内運送株式会社で実際に運んでいる物についての紹介を行ない、京都府トラック協会が人材確保対策として制作したDVD「想いを運ぶトラック」を視聴した。

日常生活のあらゆる場面に物流の仕事が携わっていることや、トラックドライバーの仕事が社会と生活のライ



(一社)大阪府トラック協会 滝口敬介 専務理事
堀内運送株式会社 経営企画室・人事課課長 三浦隆志 氏



フラインを支えていることに新しい発見もあった生徒達は、メモを取りながら真剣に聞き入っていた。

また、7月15日には、登校型コースの2年生33名を対象に、ホームルーム授業内において特別授業として、同じく当協会 滝口敬介 専務理事と、堀内運送株式会社 経営企画室・人事課課長 三浦隆志 氏により、「物流に関する授業」を実施した。

なお、希望する生徒については、夏休み期間にトラック運送会社にて1日もしくは3日間の企業インターンシップを行なうことも予定している。

当協会では、大阪府と連携して、他の府内の高等学校等から依頼があれば今後も同授業を実施していきたいと考えている。

アンケート (一部抜粋)

【物流に関する授業】を受けてみてどうでしたか? (合計 59)		
1. 良かった	50	84.7%
2. 普通	9	15.3%
3. 良くなかった	0	0.0%
授業を受けてみてトラックドライバーのお仕事へのイメージは変わりましたか? (合計 59)		
1. 変わった	19	32.2%
2. 少し変わった	18	30.5%
3. あまり変わらなかった	18	30.5%
4. 全く変わらなかった	4	6.8%
Q. どんな風にイメージが変わりましたか? (一部抜粋)		
<ul style="list-style-type: none"> ・この人たちがいるから日本がいい/国なんだと変わった ・働いているのは男性がほとんどだと思っていたが、女性も働いていてイメージが変わった ・危ないと思っていたが安全装置がたくさんついており安心だと思った ・怖い人のイメージだったけど優しい人のイメージに変わった ・すごく大変だと思ったけど、感謝されたり喜んでもらえたりしてもらえるので、やりがいがありそう ・物流は自分が思っているよりも多くの物が関わっている ・荷物だけでなく、人の想いも運んでいるということ ・最初から良いイメージでしたが、もっと良いイメージになった 		
トラックドライバーの仕事のイメージで良さそう (興味がある) と思うのはどんなところですか? (複数回答有) (合計 93)		
1. 大きなトラックを運転できてカッコいい	12	12.9%
2. 色んな所 (遠く) に行ける	12	12.9%
3. 1人で過ごせる時間が長い	16	17.2%
4. モノをお届けして感謝される	31	33.3%
5. 社会や生活を支えることができる	22	23.7%
トラックドライバーの仕事のイメージで不安に思うのはどんなところですか? (一部抜粋)		
<ul style="list-style-type: none"> ・事故が起きたら大変そう ・商品や仕分けの作業 ・長時間の運転 ・狭い道路やお届け先にいるか ・荷物を時間内に届けられるか ・免許を取得するのが大変そう ・夜中に起きるのはしんどそう ・給料 		